

フレッシュイレブン

よ
し
き

いきいきとたのしく

<43号>

令和7年3月25日

発行責任者

吉木校区コミュニティ

運営協議会

会長 秀島 義視

人の力でまちづくり

事務局長 宗岡 信之



害時の助け合いや高齢者
子どもの見守り、生活環
境の向上など様々な取り
組みが行われています。
そして校区コミュニティ
は、自治区単位よりも校
区単位で取り組んだ方が
より効率的な「防犯・防
災」「環境美化・保全」
「健康・福祉」などの課
題の解決、いわゆる「ま
ちづくり」の役割を担っ
ているところです。

負しています。

吉木校区内には、まち
のシンボルである三里松
原やホテルの生息する乳
垂川があり、心や体を癒
やす自然景観や自然資源
があふれています。暮ら
しそのものが自然体験で
あり、自宅周辺の田園地
帯に最近若い世代の移住
者が増えてきました。
地域コミュニティの基
盤は自治区であり、住み
よい地域になるよう、災

治区や構成員である各種
団体も同様の課題に直面
しています。

まちづくりに最も重要
なのは「人の力」です。
自助・共助・公助がひと
つにならなければ住民自
治の確立は達成できません。
みんなが輝く元気な
吉木校区が持続されるよ
う、活動への積極的な参
加を期待しています。

皆さん、来年度もご
支援よろしくお願い申し
上げます。



新型コロナウィルスの影響が収束へと向かう中で、「明るく豊かな、活力ある町を築く」という基本方針に沿って、私たちは各種の事業活動を推進しました。



防災の輪を広げる

安全・安心部会

梶田 剛

避難訓練

1月22日に吉木小学校で地震避難訓練が行われました。昨年11月の火災避難訓練にも立ち会いましたが、どちらの訓練も整然と進められ、防災教育の成果が発揮されていた。

と思っています。

児童達は避難場所の運動場に速やかに集合し、校長先生から「先生の指示に従って、常に落ち着いて行動してください」と呼びかけがありました。災害はいつでも発生するか予測は出来ません。当部会としては地域及び行政と連携を密にしながら、防災活動の充実に努めて参ります。

防災学習

★11月14日、朝倉市三奈木地区コミュニティ協議会の活動状況や、災害時における対応などについての合同視察研修に出席しました。

平成29年の九州北部豪雨災害を受けての、2か月間に及ぶ避難所開設・運営の経験談はとても参考になりました。

- ・コミュニティの自主防災体制の重要性
- ・弱者避難の難しさ（定期的な訓練の実施）
- ・災害発生時から3日間自分自身や家族・財産を守る（自助）
- ・地域や近隣の人が互いに協力し合うこと（互助）

などの説明を受け、今後の防災活動に生かしたいと思っています。

★近年、全国的に災害は激甚化の傾向にあり「今まで災害はなかったのに」といった被災者の声が報道されることもしばしばです。能登半島地震から1年が経過しま

したが被災地では復旧・復興の過程で、コミュニティの維持が課題となっています。

今後、岡垣町も大規模な災害に見舞われる可能性は十分あるため、12月5日に中央公民館で、町役場地域づくり課の職員を講師として招き勉強会を開催しました。

- ・災害時の役割
- ・避難所に関する整理
- ・避難所開設、運営の実際

・町で地震が発生したらをテーマに、活発な意見交換を行いました。

勉強会を経て校区コミュニティでは、各自治区などで行われる防災訓練や避難訓練との連携策を検討しています。

自然環境を守る

環境部会

筒井 信秋



草の中のゴミ拾い

乳垂川一斉清掃

春と秋に実施している美化活動は、地域の年中行事としてすっかり定着しています。

10月27日に中間地点の熊野神社に集合し、開会式後に2つのグループに分かれて、上高倉区内から吉木区の高見橋までの間のごみや流木の片付けなどを行いました。

当日は門司町長をはじめ子どもから大人まで90人の参加があり、みんなでホタルが生息する環境を保全しました。

吉木小ビオトープ清掃



ダンプとユンボを使って行いました

11月10日に校長先生や記念事業実行委員と共同で、3時間にわたってビオトープ一帯の整備作業を行いました。

今回は吉木小学校創立150周年記念事業の一環としての取り組みでもあり、繁茂した水草の除去のほか、重機を使用し、堆積した泥も排出しま

した。このほか樹木の剪定なども手がけとてもきれいになりました。ビオトープは校内で一番人気の場所でもあり、子どもたちが自然の大切さを実感し、楽しく学べたら幸いです。

視察研修



岡垣町の施設を見学しました

都会のすぐそばにありながら、海や山などの自然環境に恵まれ、その豊かな自然からもたらされ

る地下水。

水道水の85%がこの地下水であり、町の大きな魅力のひとつとなっています。

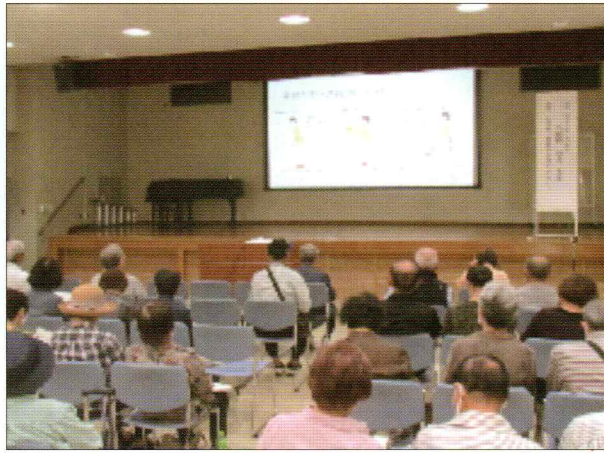
地元の環境に焦点を当て「岡垣の美味しい水」の由来を理解すべく、1月29日に12人が参加して視察研修を行いました。町役場上下水道課の職員から「大地の水ヒストリー」についての説明を受けた後、浄水場や高倉区内水源ポンプ、高尾配水池などの施設を見学しました。

蛇口をひねればいつでも使える大切な水道水。私たちの家庭に届くまでには、多くの人が関わっていることを改めて認識しました。

健康増進を目指す

健康・福祉部会

御領園 正



健康づくり教室

★10月5日中央公民館でふれあいサロンを開催し、68人の参加がありました。
おかがき病院理学療法士の久保田敦志先生を講師として招き、「ひざ痛腰痛を

あきらめない」をテーマに、予防のための各種体操などについて学びました。最後に先生は「日頃の運動習慣が健康寿命延長の近道」とみんなに喚起されました。

★骨粗鬆症は骨折の危険性が高い病気であり、「骨折・転倒」が高齢女性の主な介護の原因になっています。

誰にでも発症の可能性がある骨粗しょう症について、1月18日に新水巻病院の畠山英嗣副院長が「生涯現役その想い、骨まで伝えますか」と、ユーモアを交えて講演。会場の中央公民館大会議室は、90人近くの参加者の笑い声と熱気で包まれました。講演後には20分間にわたって、健康増進に関する質疑応答が行われ、参加者は「豊かな人生を送

るために、丈夫な骨づくりが大切と感じた」など話していました。

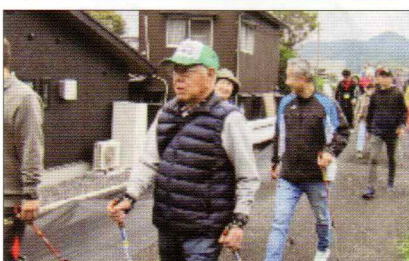


コミュニケーション部会

和田 敏子

スポーツ教室開催

足の負担を軽減し、全身の筋肉を効果的に動かせる「ノルディックウォーキング」



楽しく、一生懸命に取り組みました

年齢や性別を問わず楽しめるスポーツです。
健康を保つためには、毎日の適度な運動が不可欠。
10月15日に吉木小学校の快適な芝生グラウンドを利用して、岡垣町スポーツ推進委員の熱心な指導を受けながら、参加者29人は気持ち良く体を動かしました。
仕上がりとして、乳垂川の流れに沿って、高倉神社近くまで散策を楽しみました。